

令和7年度 第1回 区政モニターアンケート報告書 考察

1 令和7年度 第1回区政モニターアンケート実施内容

調査対象	区政モニター 1,000名
調査内容	テーマ1 震災に備えて
	テーマ2 男女共同参画に関する意識について
	テーマ3 新宿フィールドミュージアムについて
	テーマ4 人と動物が共生するまちづくりについて
調査期間	令和7年7月16日～令和7年7月30日
調査方法	郵送配布・郵送回収
回答数	900票（回収率90.0%）

2 「テーマ3 新宿フィールドミュージアムについて」の調査内容

- (1) 「新宿フィールドミュージアム」の認知状況
- (2) 「SHIN-ONSAI（シンオンサイ）」の参加の有無
- (3) 「SHIN-ONSAI（シンオンサイ）」を知った経緯
- (4) 希望する文化芸術イベントについて
- (5) よく接する文化芸術のジャンル
- (6) 希望する情報発信の手法
- (7) 新宿区にゆかりのあるアーティスト

3 回答者の属性

(1) 居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 四谷	102	11.3	6 戸塚	106	11.8
2 簗笥町	128	14.2	7 落合第一	88	9.8
3 榎町	96	10.7	8 落合第二	89	9.9
4 若松町	82	9.1	9 柏木	64	7.1
5 大久保	105	11.7	10 角筈・区役所	40	4.4
			計	900	100.0%

(2) 性別

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 男性	374	41.6	3 自由回答	2	0.2
2 女性	499	55.4	無回答	25	2.8
			計	900	100.0%

(3) 年齢

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 18～19 歳	5	0.6	9 55～59 歳	89	9.9
2 20～24 歳	19	2.1	10 60～64 歳	83	9.2
3 25～29 歳	31	3.4	11 65～69 歳	70	7.8
4 30～34 歳	53	5.9	12 70～74 歳	63	7.0
5 35～39 歳	58	6.4	13 75～79 歳	60	6.7
6 40～44 歳	73	8.1	14 80 歳以上	72	8.0
7 45～49 歳	97	10.8	無回答	7	0.8
8 50～54 歳	120	13.3	計	900	100.0%

(4) 同居している家族等

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 子	327	36.3	6 兄弟姉妹	32	3.6
2 妻または夫	530	58.9	7 その他	29	3.2
3 親	89	9.9	8 ひとり暮らし	209	23.2
4 祖父母	2	0.2	無回答	9	1.0
5 孫	12	1.3	回答総計	1239	137.7%
			計	900	100.0%

(5) 同居者数

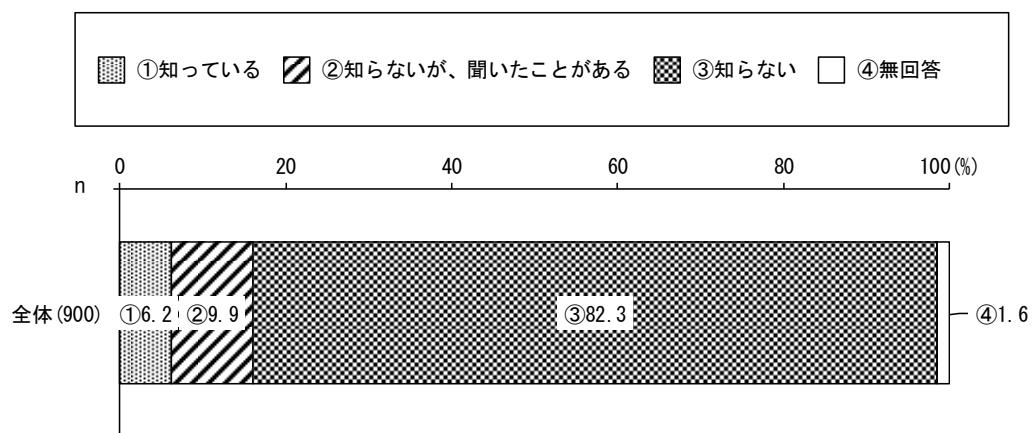
選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1 人	328	48.1	4 4 人	25	3.7
2 2 人	185	27.1	5 5 人以上	14	2.1
3 3 人	124	18.2	無回答	6	0.9
			計	682	100.0%

(1)「新宿フィールドミュージアム」の認知状況

◎新宿フィールドミュージアムの認知状況は「知らない」が8割強

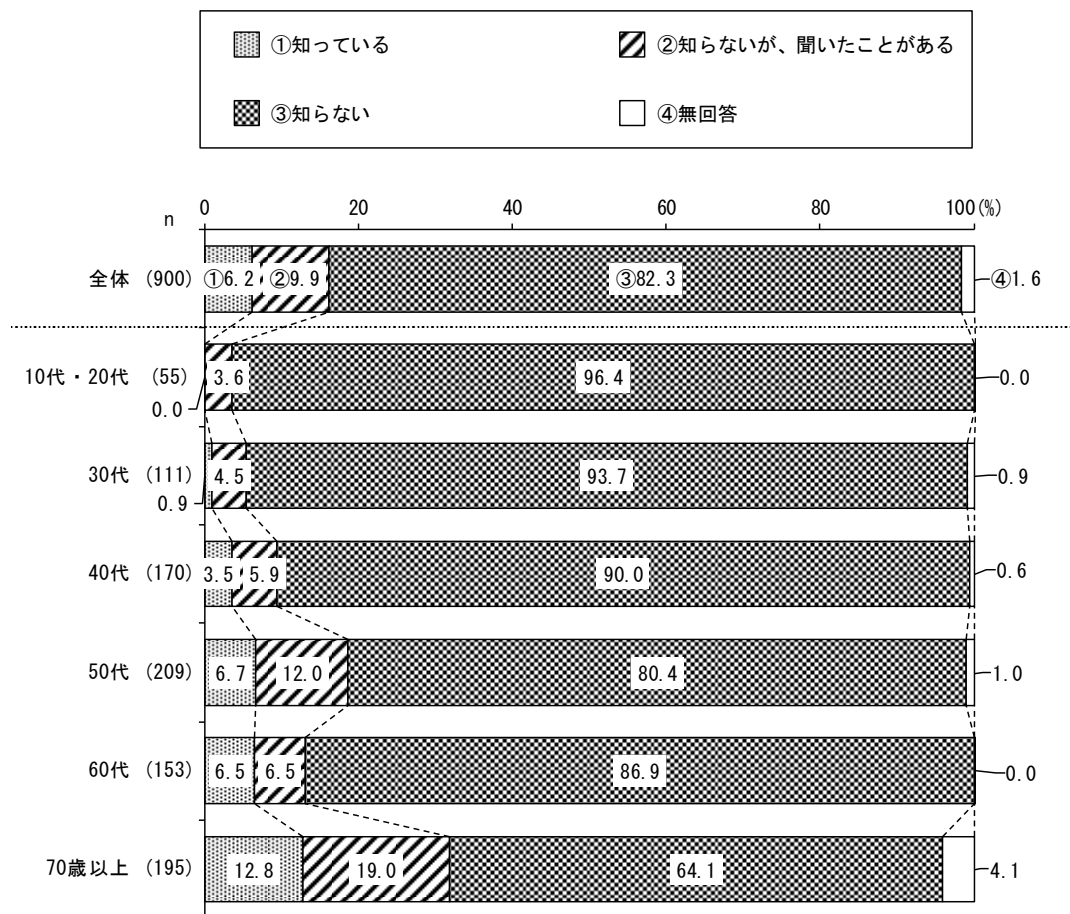
問17 あなたは「新宿フィールドミュージアム」を知っていますか。(○は1つ)	(n=900)
1 知っている	6.2%
2 知らないが、聞いたことがある	9.9
3 知らない	82.3
無回答	1.6

図3-1-1 「新宿フィールドミュージアム」の認知状況



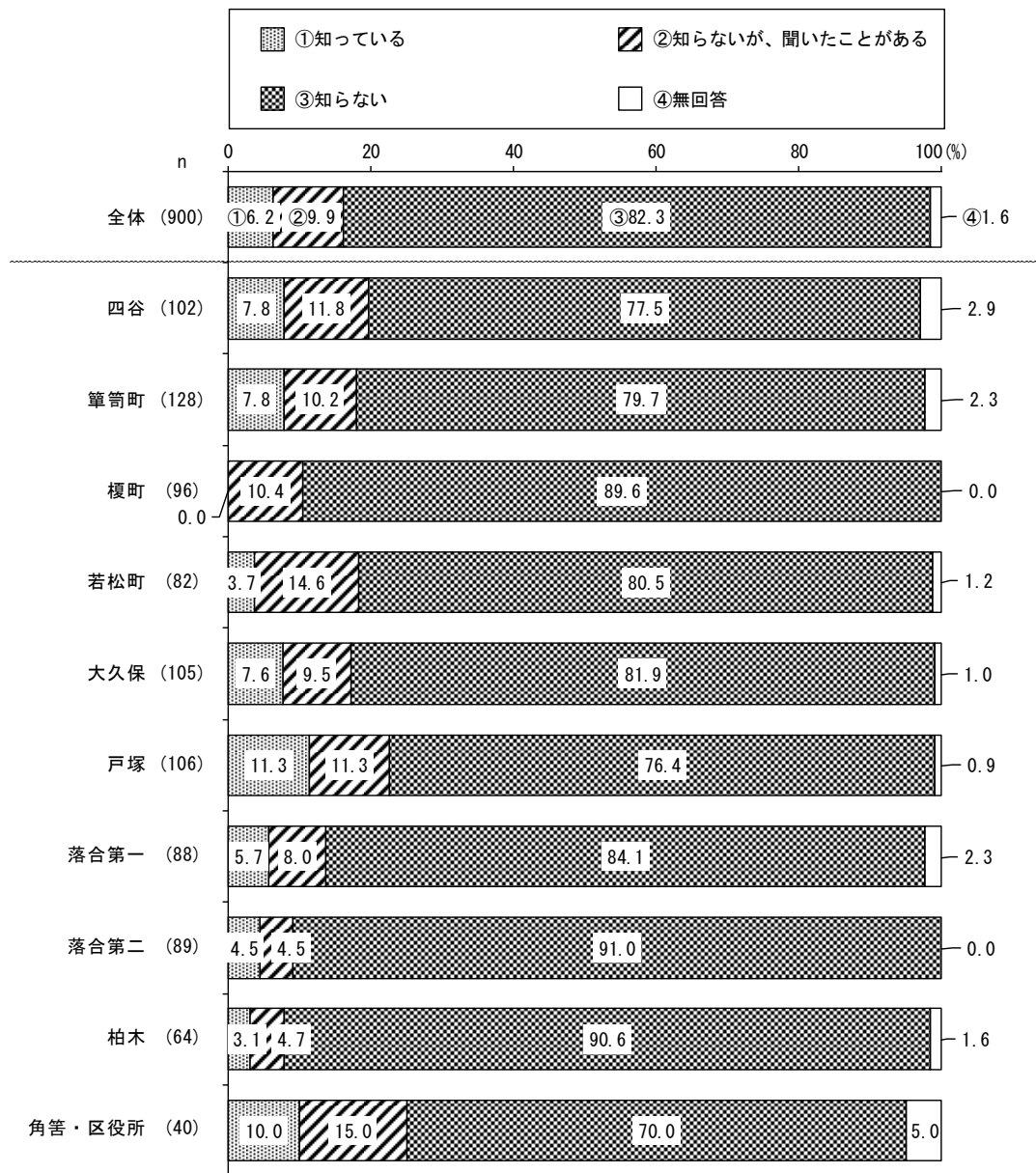
「新宿フィールドミュージアム」の認知状況について、「知らない」(82.3%)が8割強となっている。
(図3-1-1)

図3-1-2 「新宿フィールドミュージアム」の認知状況
(年代別)



年代別でみると、「知っている」は70歳以上（12.8%）が1割強と、全体（6.2%）を6.6ポイント上回っている。（図3-1-2）

図3-1-3 「新宿フィールドミュージアム」の認知状況
(地区別)



地区別でみると、「知っている」は戸塚（11.3%）が1割強と、全体（6.2%）を5.1ポイント上回っている。

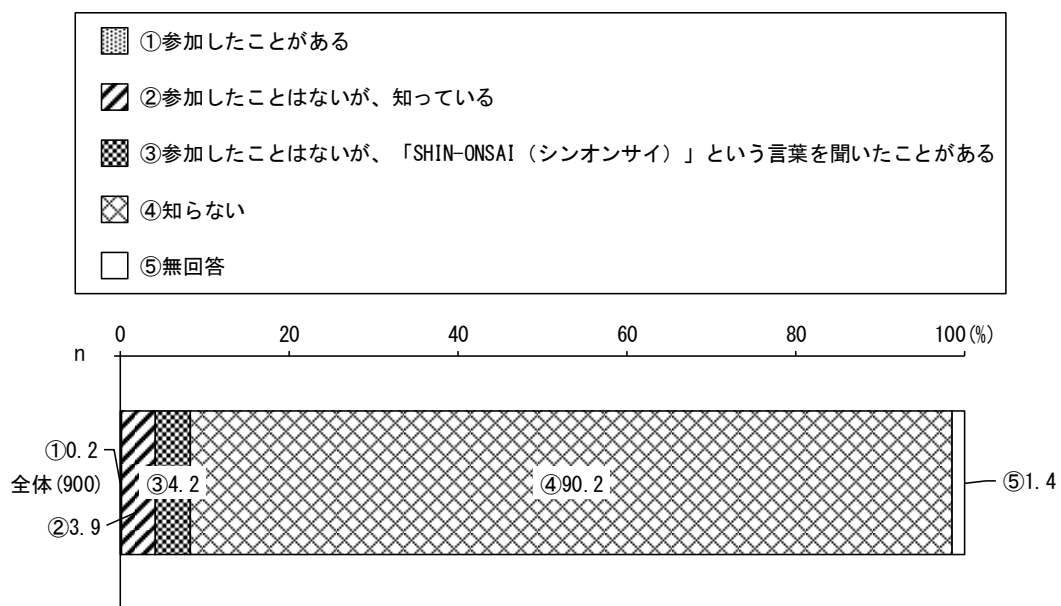
一方、「知らない」は落合第二（91.0%）が9割強と、全体（82.3%）を8.7ポイント上回っている。（図3-1-3）

(2) 「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」の参加の有無

◎SHIN-ONSAI (シンオンサイ) を「知らない」が約9割

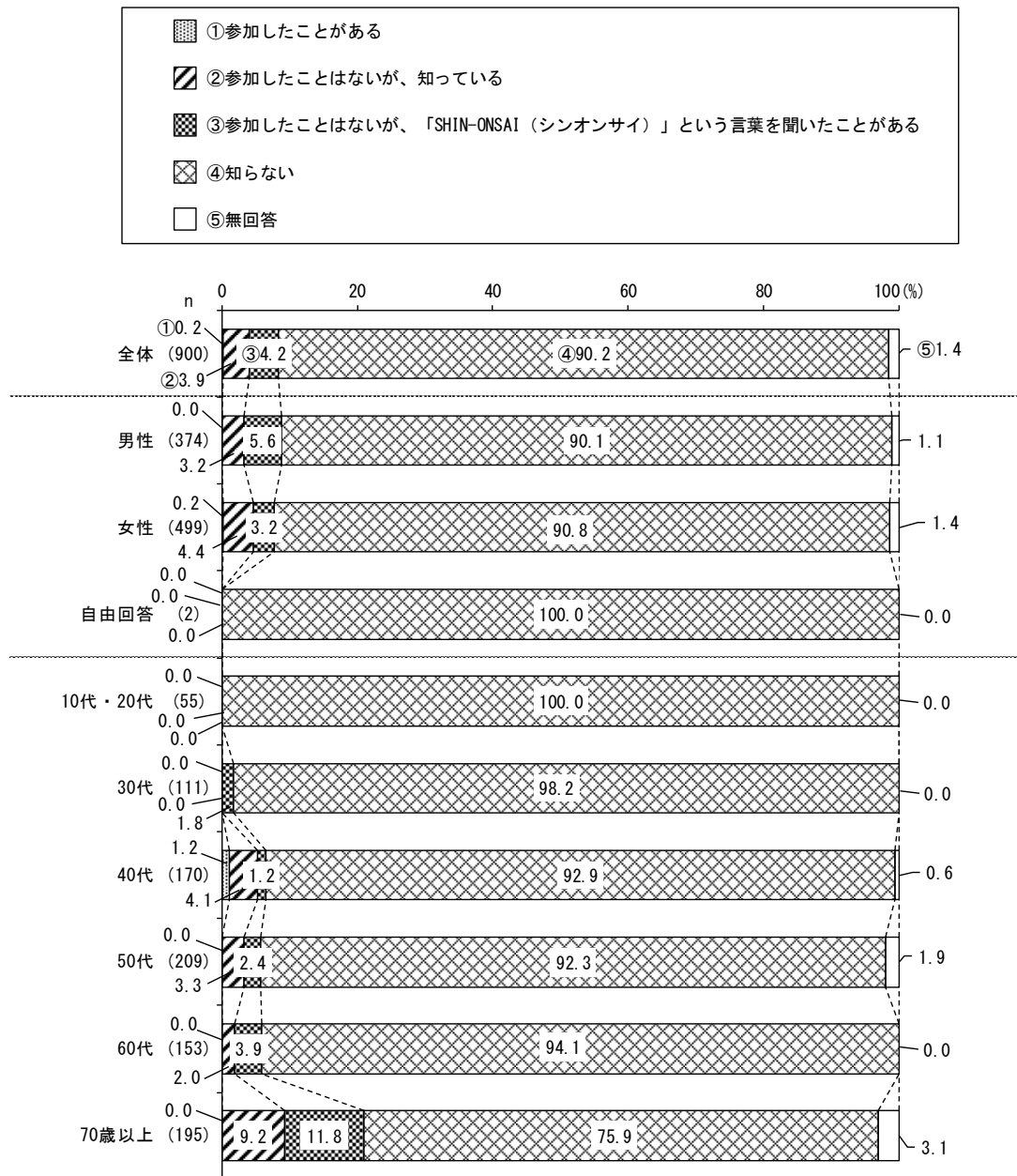
問18 あなたは、SHIN-ONSAI (シンオンサイ) に参加したことがありますか。(○は1つ)	
	(n=900)
1 参加したことがある	0.2%
2 参加したことはないが、知っている	3.9
3 参加したことはないが、「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」という言葉聞いたことがある	4.2
4 知らない	90.2
無回答	1.4

図3-2-1 「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」の参加の有無



「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」の参加の有無について、「知らない」(90.2%) が約9割となっている。
(図3-2-1)

図3-2-2 「SHIN-ONSAI（シンオンサイ）」の参加の有無
（性別・年代別）



性別でみると、「知らない」は女性（90.8%）が約9割と、男性（90.1%）を0.7ポイント上回っている。

年代別でみると、「参加したことはないが、「SHIN-ONSAI（シンオンサイ）」という言葉聞いたことがある」は70歳以上（11.8%）が1割強で最も高く、全体（4.2%）を7.6ポイント上回っている。（図3-2-2）

【考察】

10代・20代は100%が「知らない」と回答したほか、年齢が下がるにつれて「SHIN-ONSAI」の認知度が低いことが読み取れる。

(3) 「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」を知った経緯

◎「広報新宿」が6割台半ば

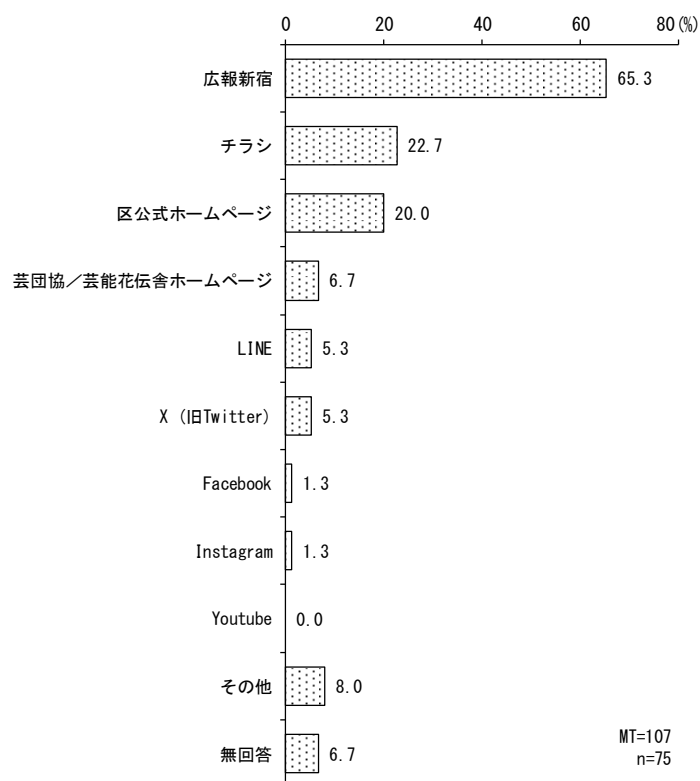
問18-1 問18で、「1」～「3」に○をした方にお伺いします。

あなたは「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」をどのように知りましたか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

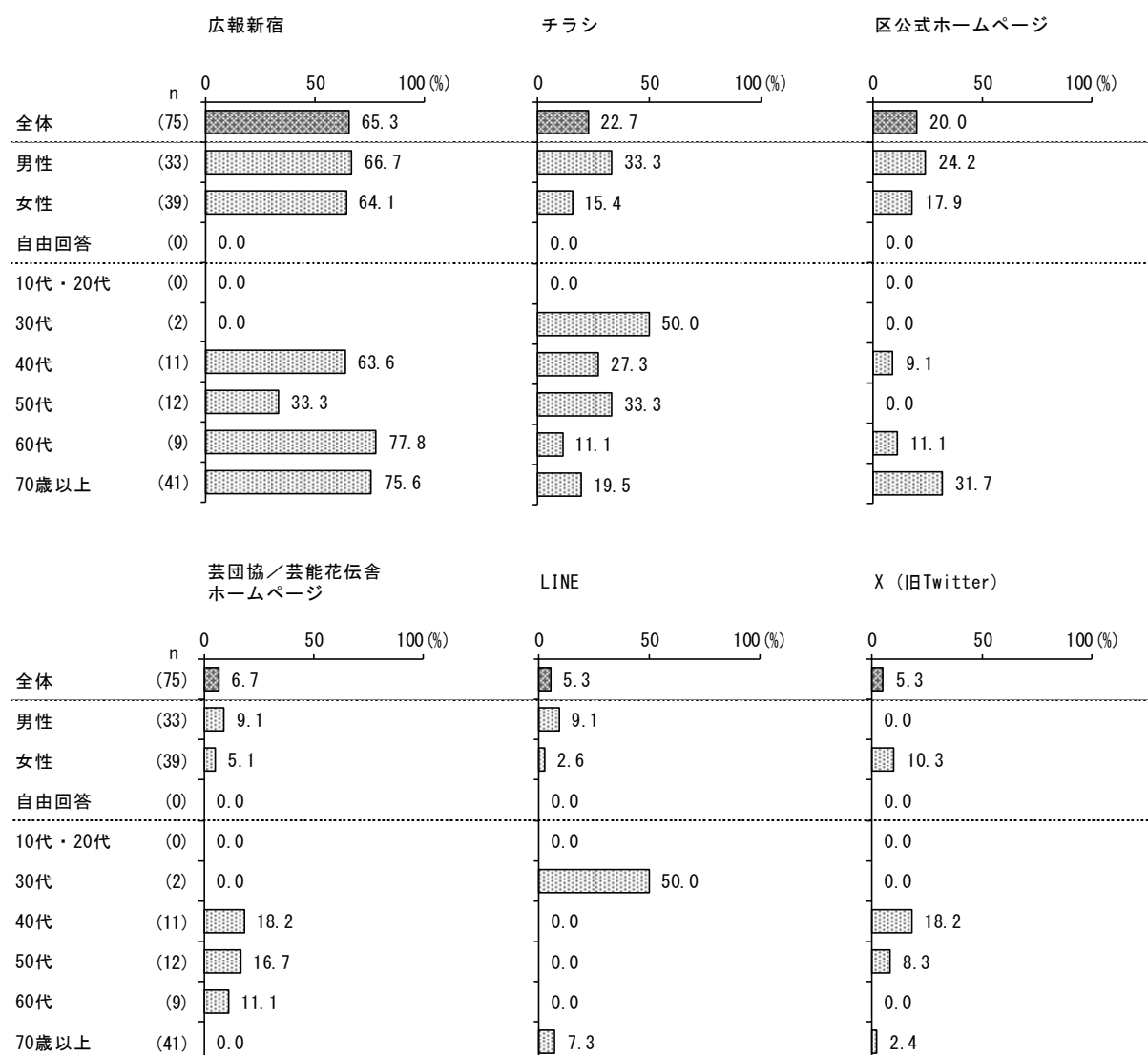
	(n=75)
1 区公式ホームページ	20.0%
2 芸団協／芸能花伝舎ホームページ	6.7
3 LINE	5.3
4 YouTube	0.0
5 X (旧 Twitter)	5.3
6 Facebook	1.3
7 Instagram	1.3
8 チラシ	22.7
9 広報新宿	65.3
10 その他	8.0
無回答	6.7

図3-3-1 「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」を知った経緯



「SHIN-ONSAI (シンオンサイ)」を知った経緯について、「広報新宿」(65.3%)が6割台半ばで最も高く、次いで「チラシ」(22.7%)が2割強、「区公式ホームページ」(20.0%)が2割と続いている。(図3-3-1)

図 3-3-2 「SHIN-ONSAI（シンオンサイ）」を知った経緯
(性別・年代別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、性別でみると、「チラシ」は男性 (33.3%) が 3 割台半ば近くと、女性 (15.4%) を 17.9 ポイント上回っている。(図 3-3-2)

(4) 希望する文化芸術イベントについて

◎「事前の申し込みや整理券等がなく、当日気軽に参加することができるイベント」が6割台半ば超え

問19 新宿のまちでは、音楽・美術・演劇・芸能・パフォーマンス・まち歩き・歴史探訪など多彩なイベントが日々開催されています。あなたは、今後新宿内で開催される文化芸術イベントについて、どのようなイベントを希望されますか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

(n=900)

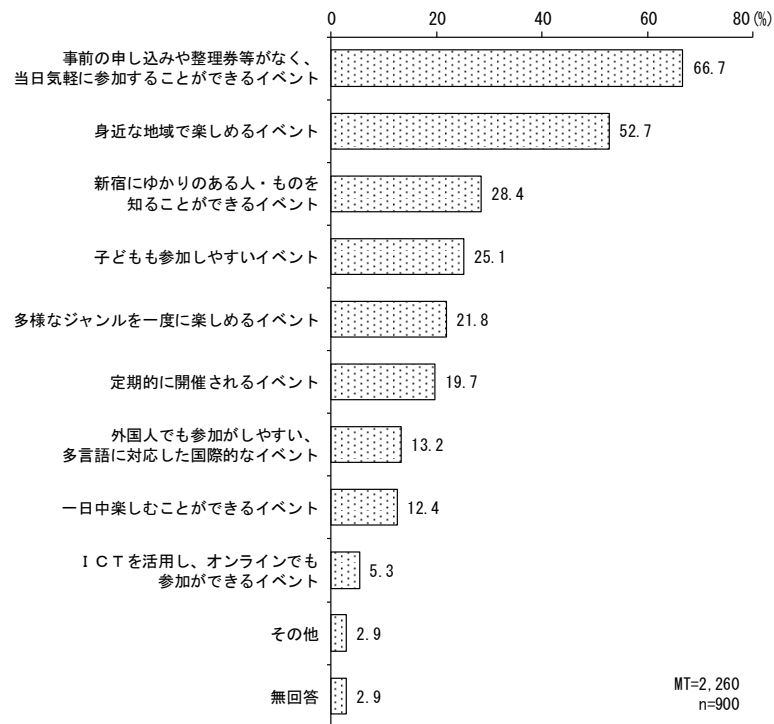
1	多様なジャンルを一度に楽しめるイベント	21.8%
2	身近な地域で楽しめるイベント	52.7
3	子どもも参加しやすいイベント	25.1
4	一日中楽しむことができるイベント	12.4
5	事前の申し込みや整理券等がなく、当日気軽に参加することができるイベント	66.7
6	定期的に開催されるイベント	19.7
7	I C Tを活用し、オンラインでも参加ができるイベント	5.3
8	新宿にゆかりのある人・ものを知ることができるイベント	28.4
9	外国人でも参加がしやすい、多言語に対応した国際的なイベント	13.2
10	その他	2.9
	無回答	2.9

【考察】

上位3位の回答項目について、回答者の世帯構成を集計したところ、いずれの回答もおおよそ8割近くが「複数世帯」であった。

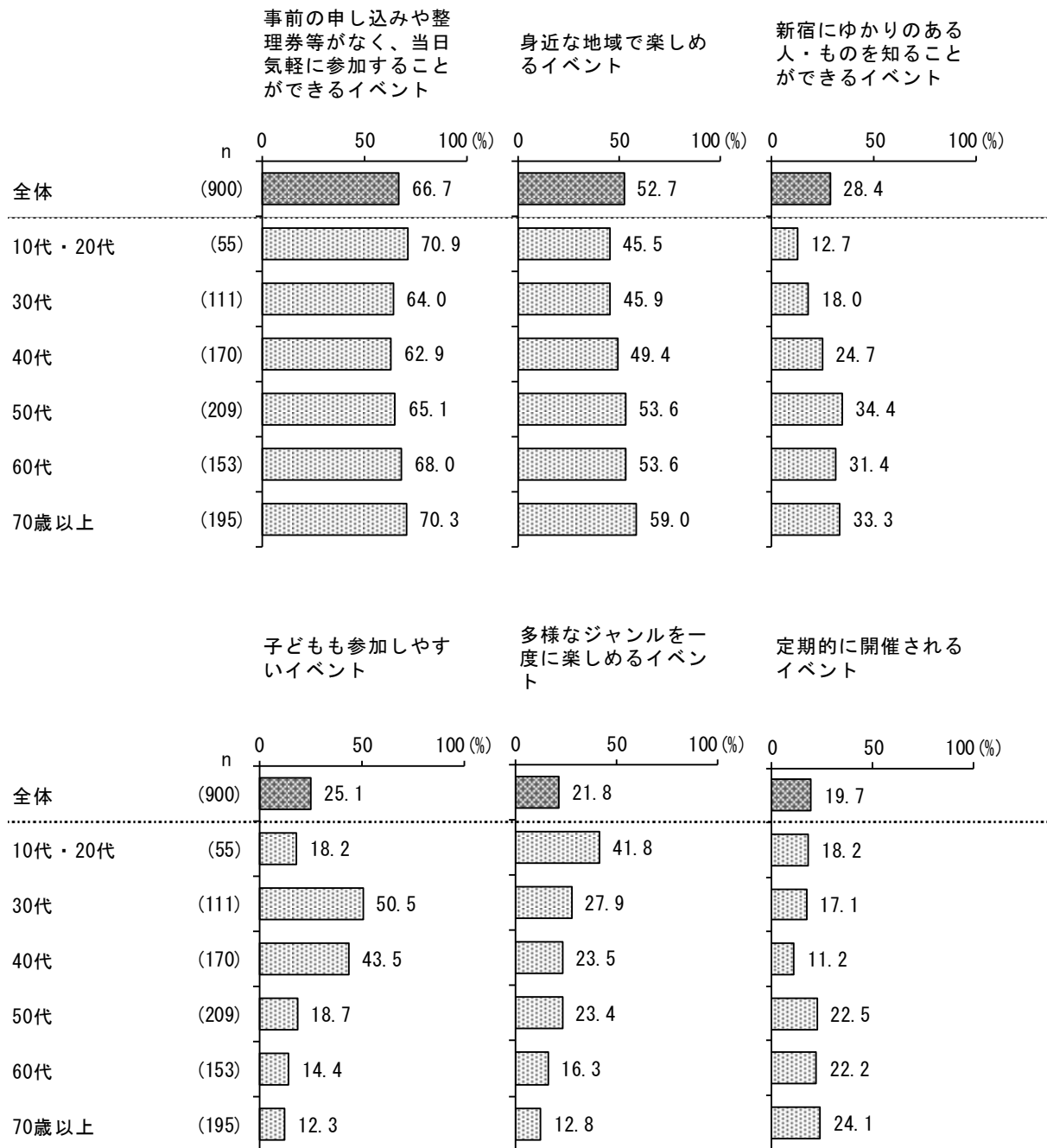
回答項目	回答数	内訳			
		①単身世帯		②複数世帯 (子あり)	③複数世帯 (子なし)
【回答5】 事前の申し込みや整理券等がなく、 当日気軽に参加することができるイベント	600人	143人	(24%)	203人 (34%)	254人 (42%)
【回答2】 身近な地域で楽しめるイベント	474人	101人	(21%)	175人 (37%)	198人 (42%)
【回答8】 新宿にゆかりのある人・もの を知ることができるイベント	256人	56人	(22%)	86人 (34%)	114人 (45%)

図 3-4-1 希望する文化芸術イベントについて



希望する文化芸術イベントについて、「事前の申し込みや整理券等がなく、当日気軽に参加することができるイベント」（66.7%）が6割台半ばを超えて最も高く、次いで「身近な地域で楽しめるイベント」（52.7%）が5割強、「新宿にゆかりのある人・ものを知ることができるイベント」（28.4%）が3割近くと続いている。（図 3-4-1）

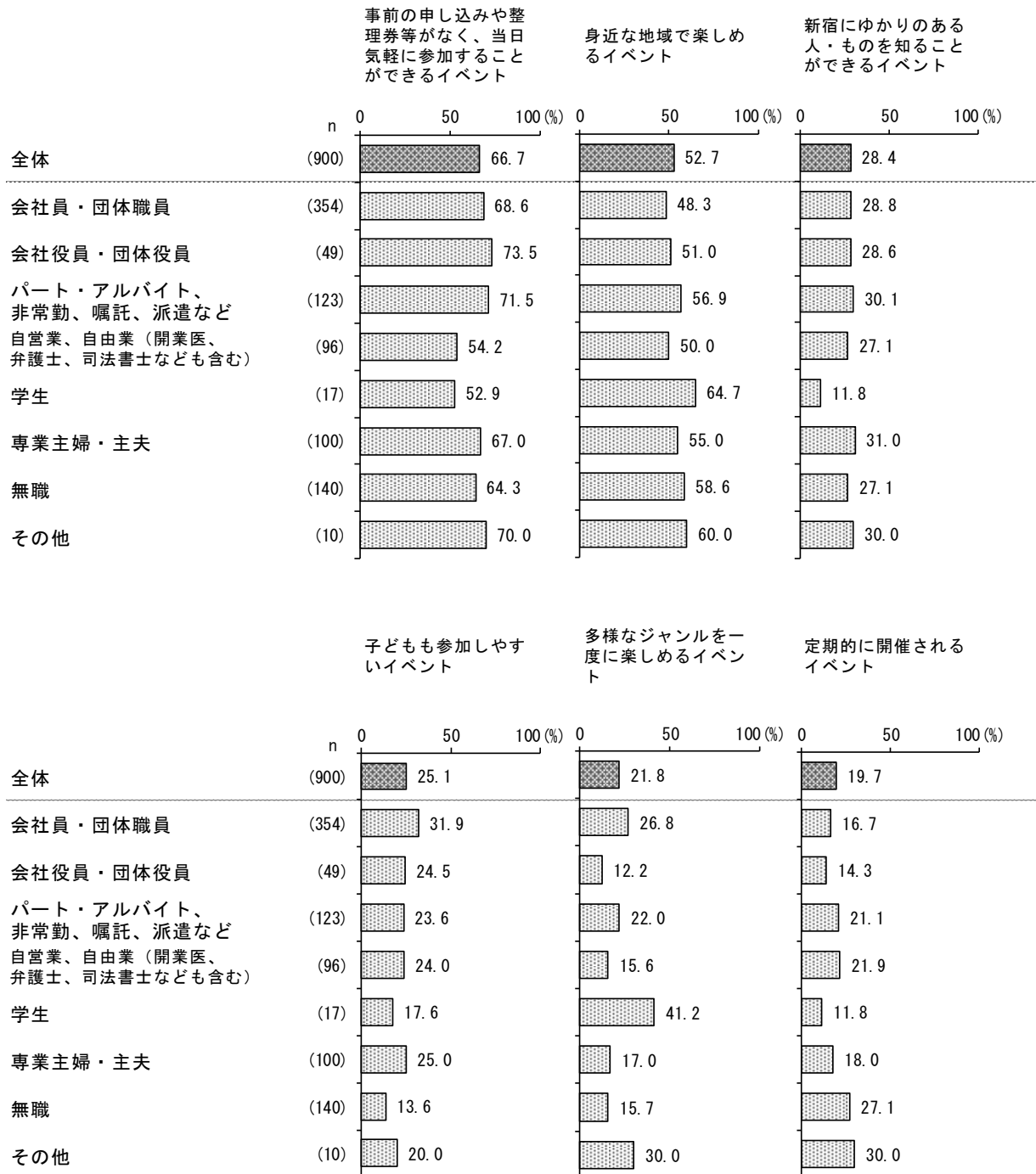
図3-4-2 希望する文化芸術イベントについて
(年代別) 上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「子どもも参加しやすいイベント」は30代（50.5%）が約5割で最も高く、全体（25.1%）を25.4ポイント上回っている。

「多様なジャンルを一度に楽しめるイベント」は10代・20代（41.8%）が4割強で最も高く、全体（21.8%）を20.0ポイント上回っている。（図3-4-2）

図3-4-3 希望する文化芸術イベントについて
(職業別) 上位6項目



職業別でみると、「事前の申し込みや整理券等がなく、当日気軽に参加することができるイベント」は会社役員・団体役員（73.5%）が7割台半ば近くで最も高く、全体（66.7%）を6.8ポイント上回っている。

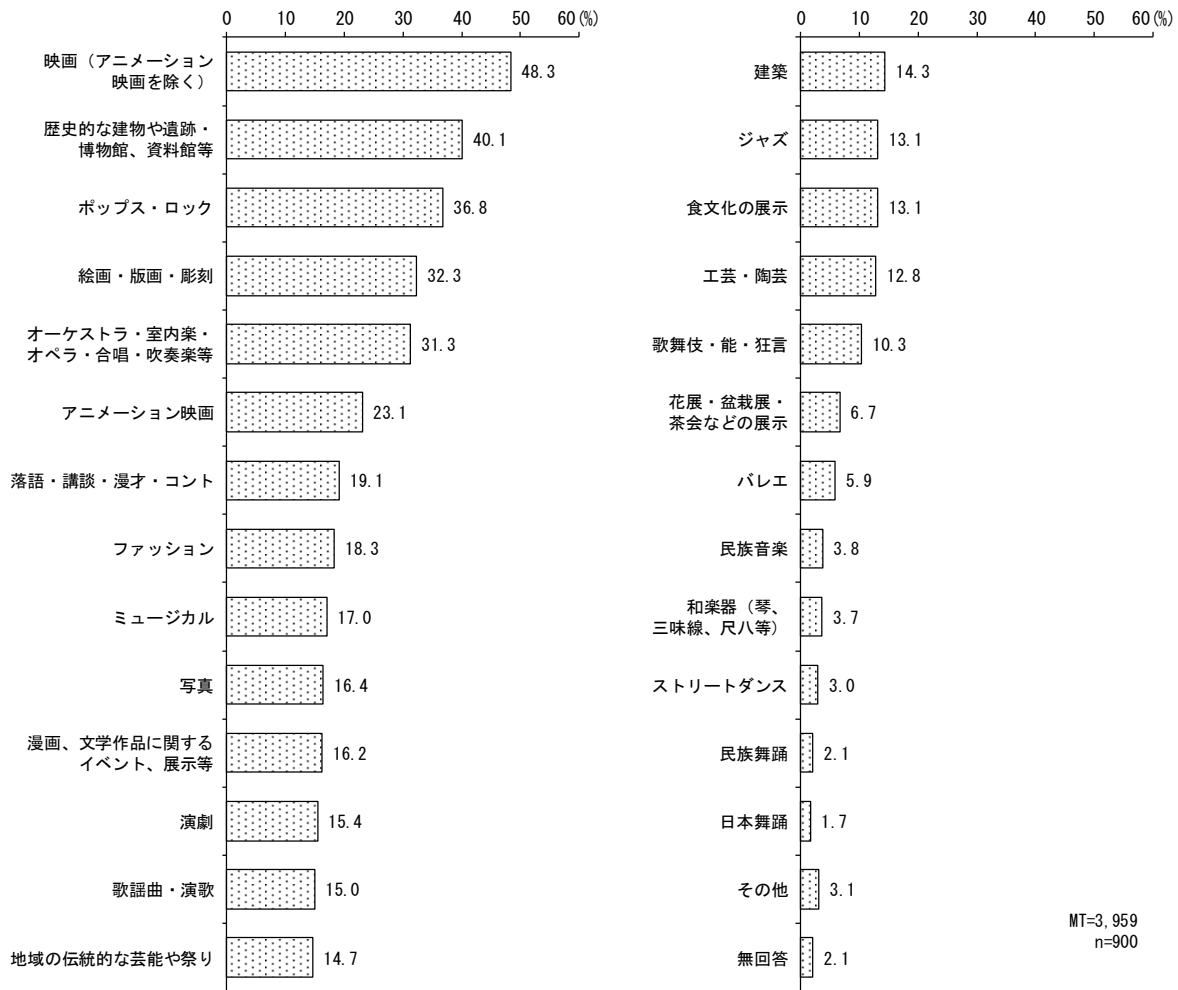
「子どもも参加しやすいイベント」は会社員・団体職員（31.9%）が3割強で最も高く、全体（25.1%）を6.8ポイント上回っている。（図3-4-3）

(5) よく接する文化芸術のジャンル

◎「映画（アニメーション映画を除く）」が5割近く

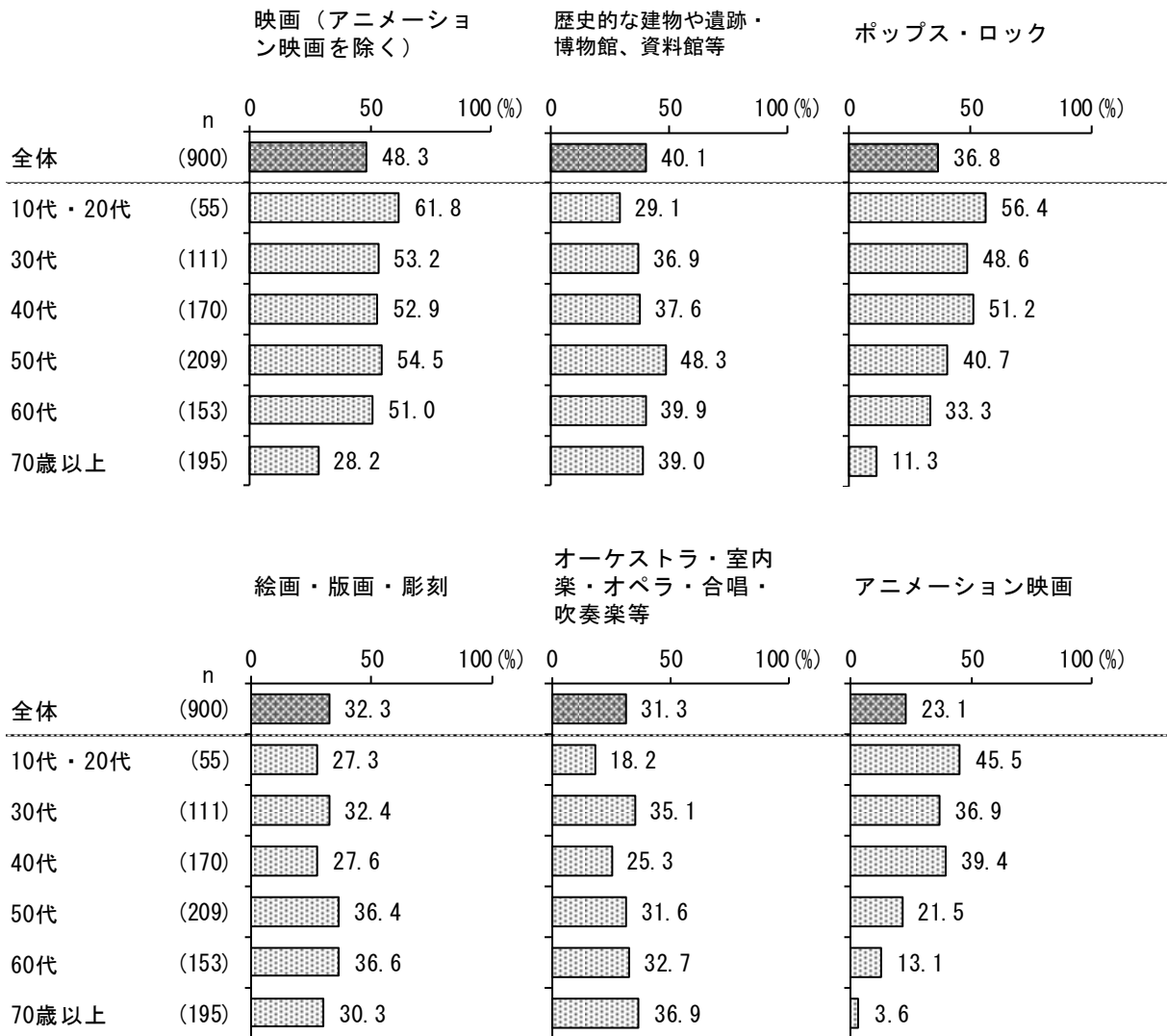
問20 あなたがよく接する文化芸術のジャンルは何ですか。 (あてはまるものにいくつでも○をつけてください)		(n=900)
1	オーケストラ・室内楽・オペラ・合唱・吹奏楽等	31.3%
2	ポップス・ロック	36.8
3	ジャズ	13.1
4	歌謡曲・演歌	15.0
5	民族音楽	3.8
6	絵画・版画・彫刻	32.3
7	工芸・陶芸	12.8
8	写真	16.4
9	建築	14.3
10	ファッション	18.3
11	演劇	15.4
12	ミュージカル	17.0
13	バレエ	5.9
14	ストリートダンス	3.0
15	民族舞踊	2.1
16	日本舞踊	1.7
17	歌舞伎・能・狂言	10.3
18	和楽器（琴、三味線、尺八等）	3.7
19	落語・講談・漫才・コント	19.1
20	花展・盆栽展・茶会などの展示	6.7
21	食文化の展示	13.1
22	映画（アニメーション映画を除く）	48.3
23	アニメーション映画	23.1
24	歴史的な建物や遺跡・博物館、資料館等	40.1
25	地域の伝統的な芸能や祭り	14.7
26	漫画、文学作品に関するイベント、展示等	16.2
27	その他	3.1
	無回答	2.1

図 3-5-1 よく接する文化芸術のジャンル



よく接する文化芸術のジャンルについて、「映画（アニメーション映画を除く）」（48.3%）が5割近くで最も高く、次いで「歴史的な建物や遺跡・博物館、資料館等」（40.1%）が約4割、「ポップス・ロック」（36.8%）が3割台半ばを超えて続いている。（図 3-5-1）

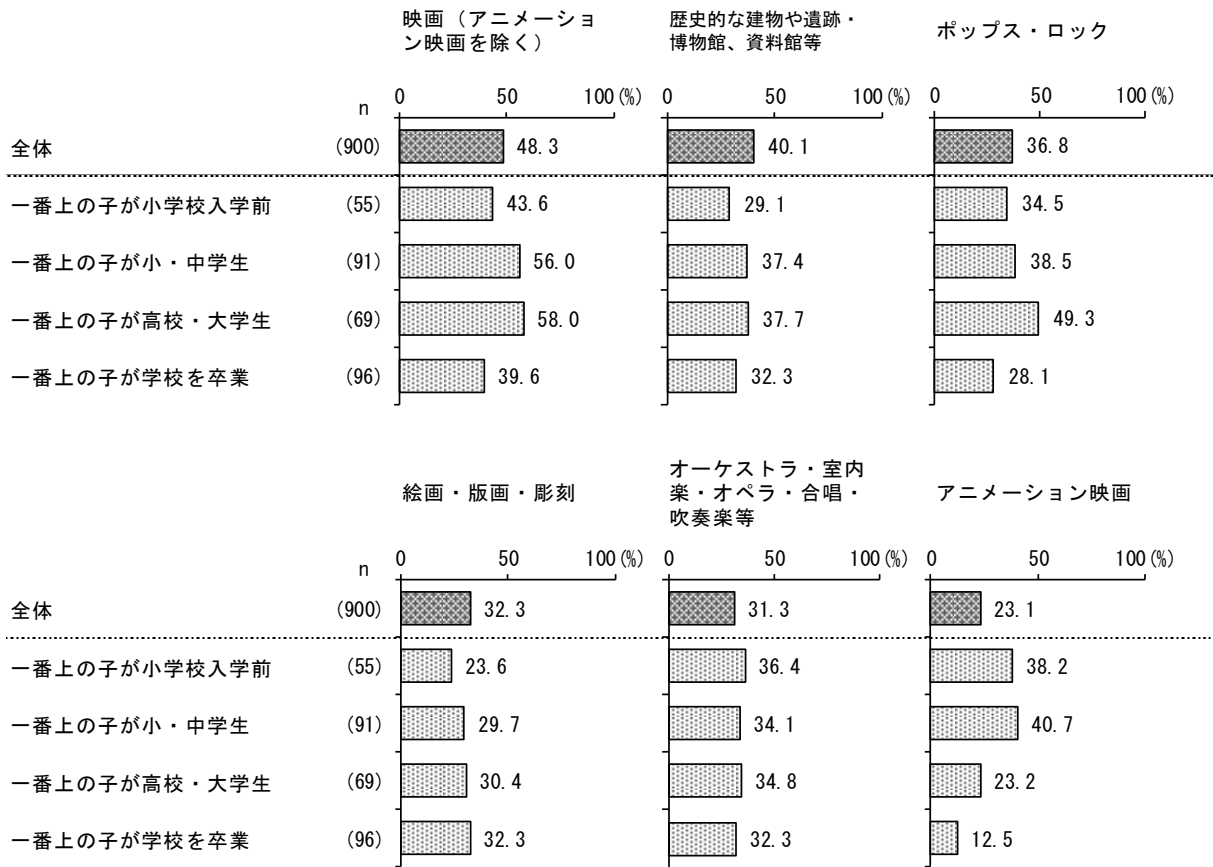
図 3-5-2 よく接する文化芸術のジャンル
(年代別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、年代別でみると、「映画 (アニメーション映画を除く)」は 10 代・20 代 (61.8%) が 6 割強で最も高く、全体 (48.3%) を 13.5 ポイント上回っている。

「ポップス・ロック」は 10 代・20 代 (56.4%) が 5 割台半ばを超えて最も高く、全体 (36.8%) を 19.6 ポイント上回っている。(図 3-5-2)

図3-5-3 よく接する文化芸術のジャンル
(同居している子別) 上位6項目



同居している子別でみると、「ポップス・ロック」は一番上の子が高校・大学生（49.3%）が5割弱で最も高く、全体（36.8%）を12.5ポイント上回っている。

「アニメーション映画」は一番上の子が小・中学生（40.7%）が約4割で最も高く、全体（23.1%）を17.6ポイント上回っている。（図3-5-3）

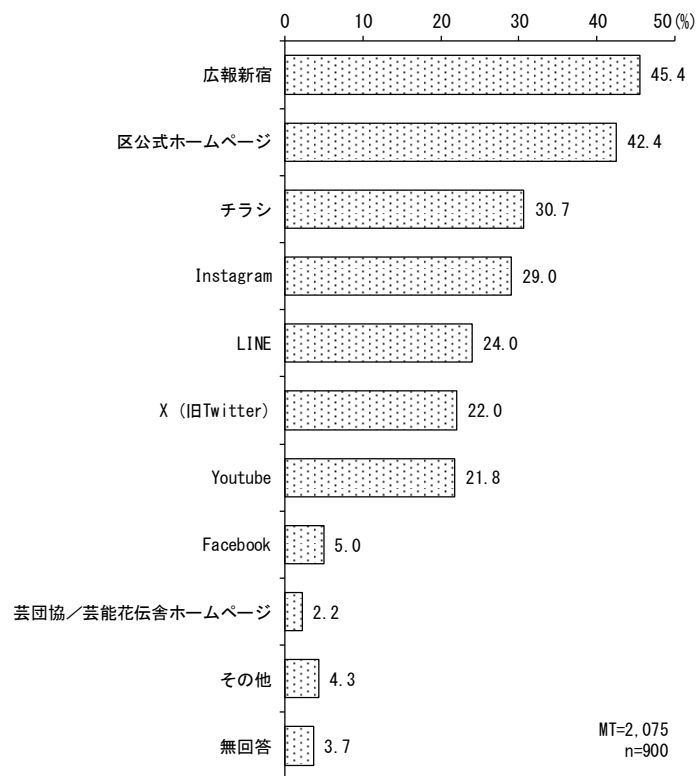
(6) 希望する情報発信の手法

◎「広報新宿」が4割台半ば

問2 1 新宿区では「新宿フィールドミュージアム」を通じて、今後も区内の文化芸術に関する事業を継続的に情報発信していく予定です。あなたは新宿区の文化芸術イベントについて、どのような手法で情報発信していくことを希望しますか。
(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

	(n=900)
1 区公式ホームページ	42.4%
2 芸団協／芸能花伝舎ホームページ	2.2
3 LINE	24.0
4 YouTube	21.8
5 X (旧 Twitter)	22.0
6 Facebook	5.0
7 Instagram	29.0
8 チラシ	30.7
9 広報新宿	45.4
10 その他	4.3
無回答	3.7

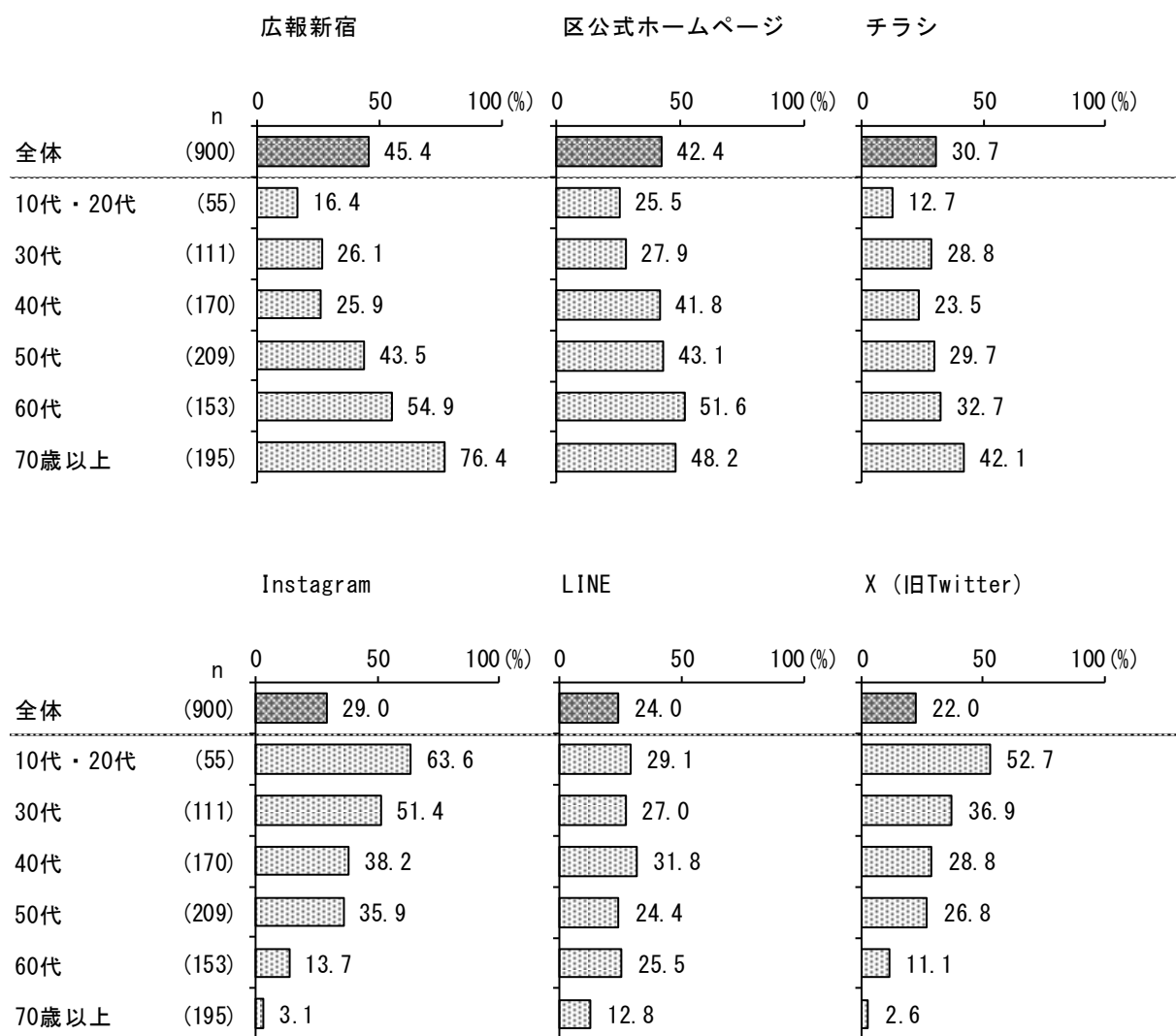
図3-6-1 希望する情報発信の手法



希望する情報発信の手法について、「広報新宿」(45.4%)が4割台半ばで最も高く、次いで「区公式ホームページ」(42.4%)が4割強、「チラシ」(30.7%)が約3割と続いている。

(図3-6-1)

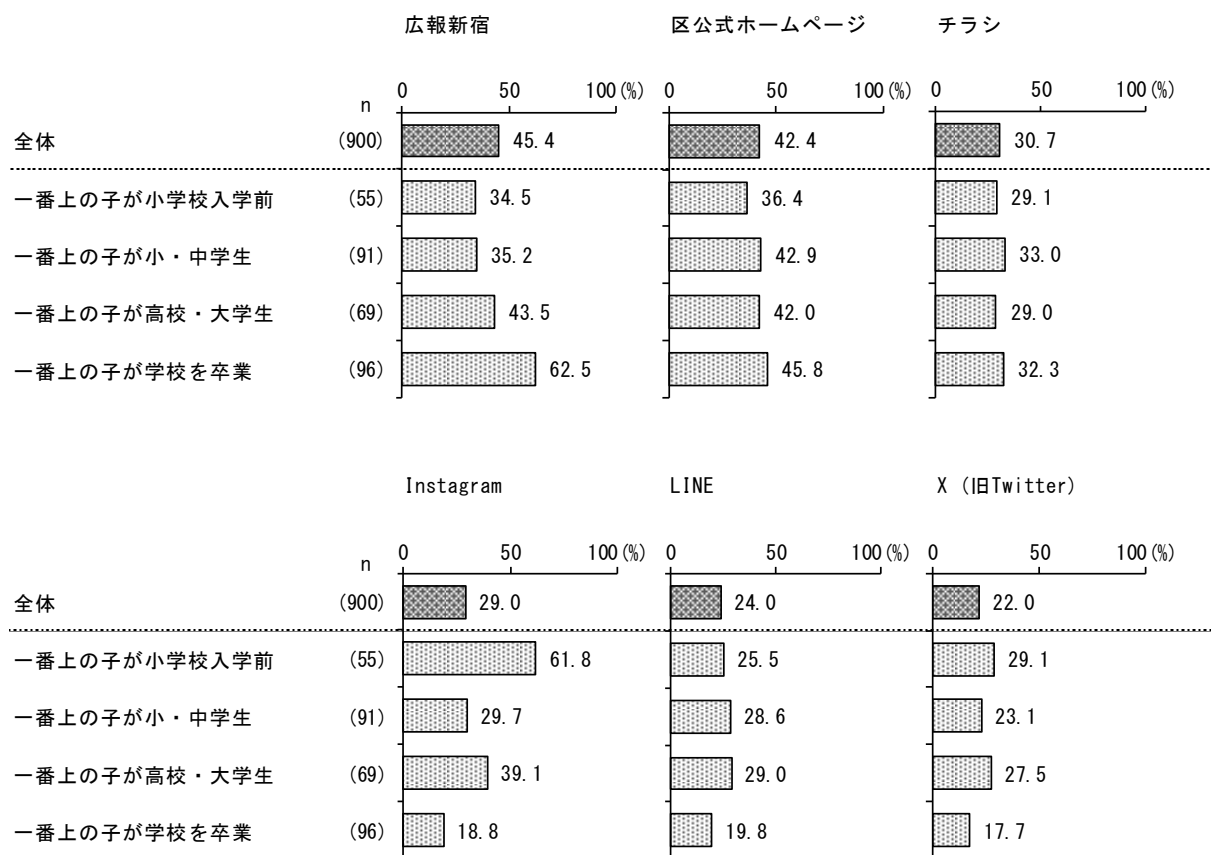
図 3-6-2 希望する情報発信の手法
(年代別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、年代別でみると、「広報新宿」は 70 歳以上 (76.4%) が 7 割台半ばを超えて最も高く、全体 (45.4%) を 31.0 ポイント上回っている。

「Instagram」は 10 代・20 代 (63.6%) が 6 割台半ば近くで最も高く、全体 (29.0%) を 34.6 ポイント上回っている。(図 3-6-2)

図3-6-3 希望する情報発信の手法
(同居している子別) 上位6項目



同居している子別でみると、「Instagram」が一番上の子が小学校入学前（61.8%）が6割強で最も高く、全体（29.0%）を32.8ポイント上回っている。

「広報新宿」が一番上の子が学校を卒業（62.5%）が6割強で最も高く、全体（45.4%）を17.1ポイント上回っている。（図3-6-3）

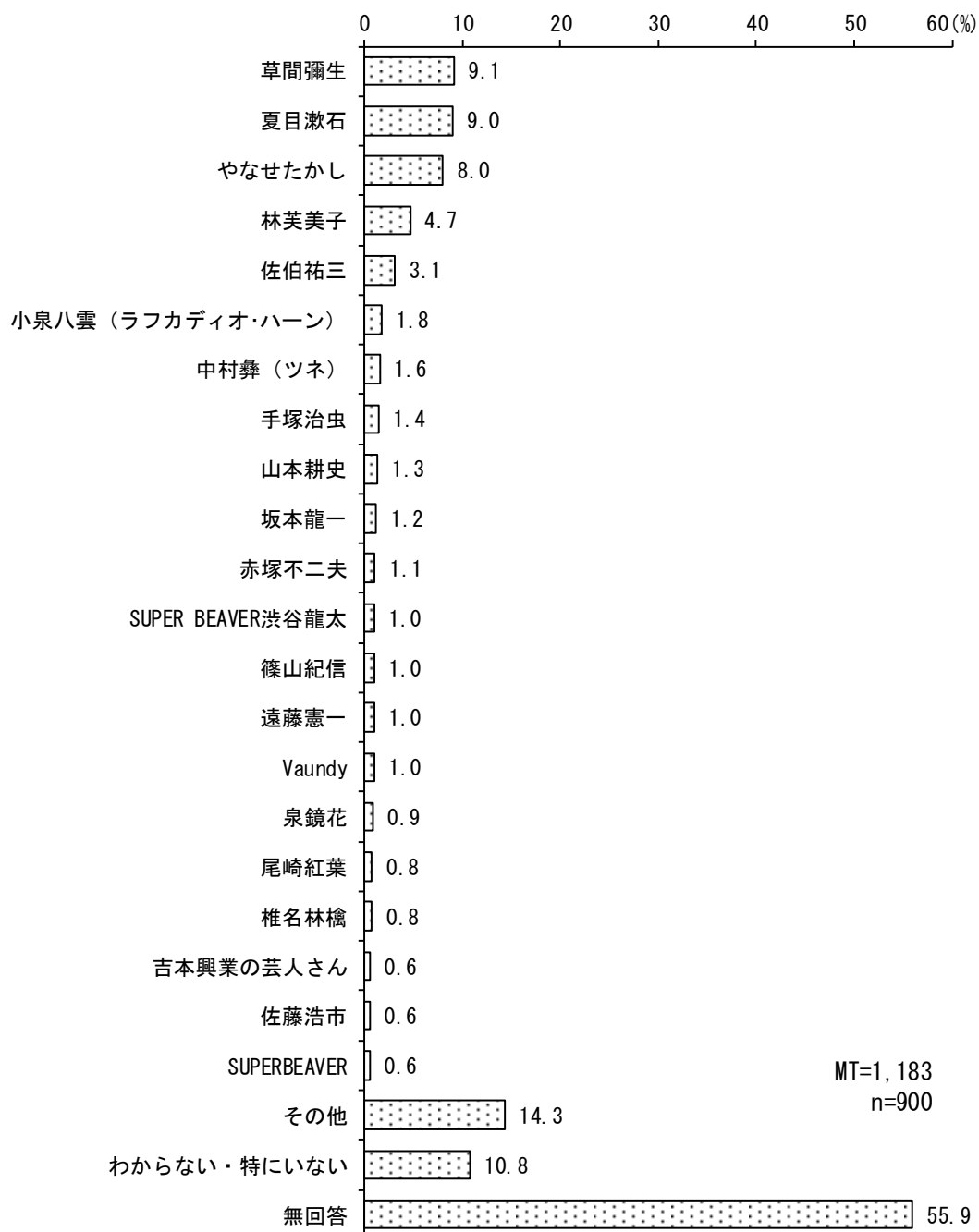
(7) 新宿区にゆかりのあるアーティスト

◎「草間彌生」が1割弱

問22 あなたの思う、新宿区にゆかりのあるアーティスト（音楽・芸術・演劇・芸能など様々な分野での芸術家）をなるべく正式名称で記載してください。※自由記載

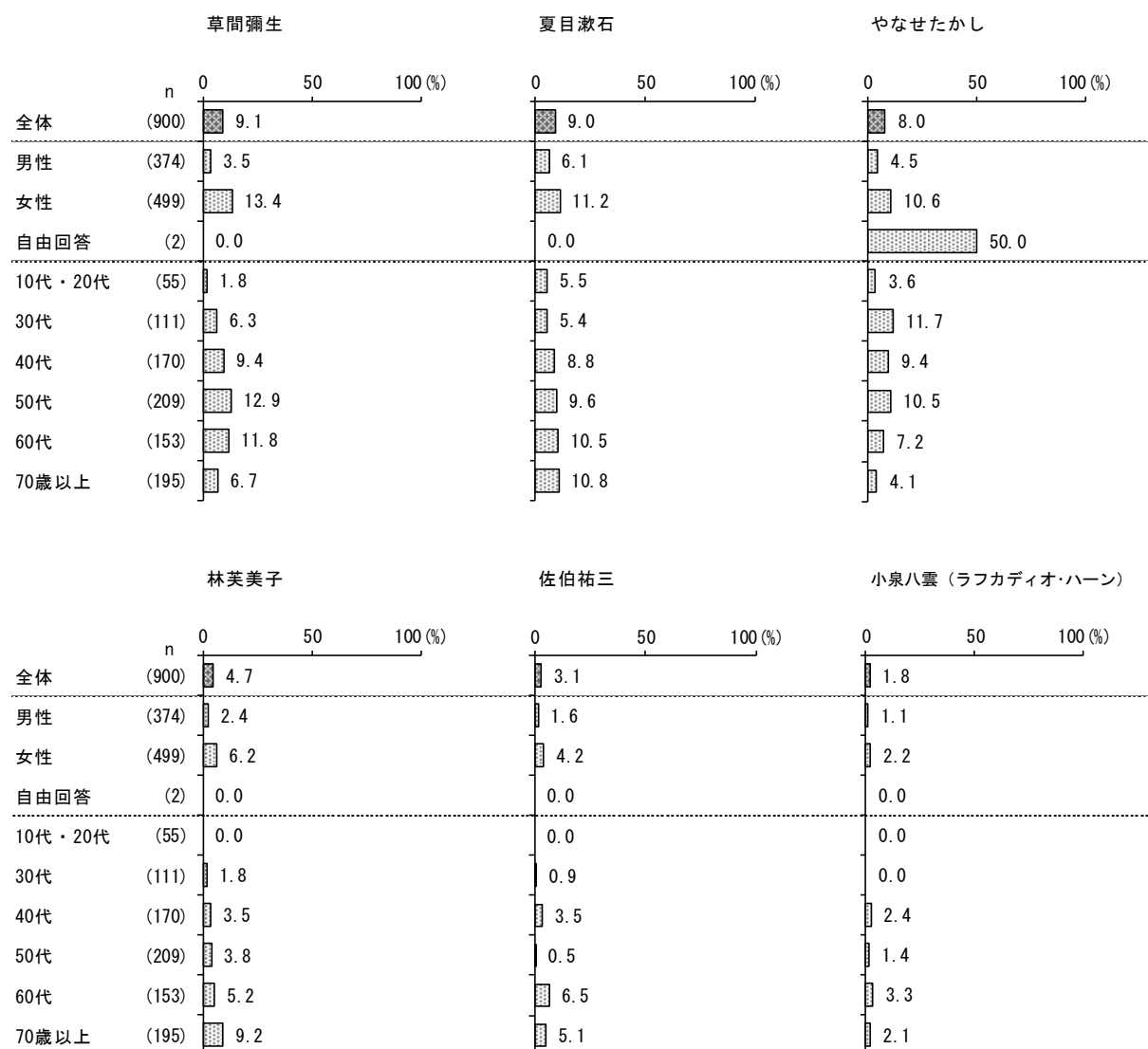
(n=900)

図3-7-1 新宿区にゆかりのあるアーティスト



新宿区にゆかりのあるアーティストについて、「草間彌生」(9.1%)が1割弱で最も高く、次いで「夏目漱石」(9.0%)が1割弱、「やなせたかし」(8.0%)が1割近くと続いている他、多種多様な回答が寄せられている。(図3-7-1)

図3-7-2 新宿区にゆかりのあるアーティストについて
(性別・年代別) 上位6項目



上位6項目について、性別にみると、「草間彌生」は女性(13.4%)が1割台半ば近くと、男性(3.5%)を9.9ポイント上回っている。

年代別でみると、「やなせたかし」は30代(11.7%)が1割強と、全体(8.0%)を3.7ポイント上回っている。(図3-7-2)